

# 東北大学大学院歯学研究科 インターフェイス口腔健康科学 第105回学術フォーラム

*Forum for Interface Oral Health Science*

## Microscopic Endodontics

### 井澤 常泰 先生

東京都渋谷区開業  
東京医科歯科大学歯学部臨床教授  
新潟大学歯学部非常勤講師

平成29年6月2日（金）17:30～19:00  
歯学研究科大会議室（C棟1階）

健全な天然歯列を維持、機能させることは歯科医にとって重要な目標であると同時に努めでもあります。この目標を達成するために、我々は日々多角的なアプローチにより臨床を行っていますが、最も厄介な治療のひとつが再根管治療ではないでしょうか。たとえば根管を探す、根管充填材を除去する、パーフォーレーションの修復、破折ファイルの除去、逆根管治療等、どれもがこれまでは“Blind”で行われてきました。言い換えれば見えないことを理由に不都合を無視した根管治療を続けてきたのです。近年の“根管治療における手術用顕微鏡の応用は、根管治療に画期的な変化をもたらし、今までは疑いもなく抜歯されていたような歯でも、保存することができるようになってきたのです。Microscopic Endodonticsとは顕微鏡下で行われる根管治療のことで、外科処置についてはMicrosurgeryとも呼ばれます。Microsurgeryにおいては、超音波レトロチップにより根管、イスマスの部分に正確な逆根管窩洞を形成し、封鎖性の良い逆根管充填材を充填することで90%を超える成功率に向上しました。本講演は動画により、顕微鏡下で行われる再根管治療、特にMicrosurgeryをご覧いただき、根管治療において拡大視することの重要性をご理解いただくことを目的としており、少しでも皆様の臨床にお役にたてば幸いです。

連絡先：第105回モデレーター 齋藤 正寛（歯科保存学分野）